

令和5年度 機械部門 技術士合格体験記

トーヨーカネツ株式会社
小野 圭輔 様



“講師の方々からの指導が、勉強していくモチベーションに”

◎はじめに

技術士とはとても難しく、厳格な資格であると以前は感じていました。しかし普段から専門的な、難しいことばかりを考え、固くなりすぎないようにしています。技術的な経験を積み重ねていくこと、専門性高く新たな知識を取り入れること改善することは技術者として当然なのですが、**難しいこと、困難な課題に対してそれができるだけ、シンプルに、易しく、わかりやすい言葉で表現し周囲からの理解を得ることを大切に考えています。**

◎受験のきっかけ

社内の先輩技術士から指名を受け、技術士を目指すようになりました。わたしは物流設備の試験研究、評価、設備導入を行う監理技術者として勤務しています。**後輩への指導育成に注力していくこと。発注者、エンドユーザー、社内関係者その他関連する方々に信頼していただける、業務を進めて、行けるように技術系最高峰の国家資格である技術士受験を志しました。**

◎筆記試験対策講座について

論文添削を受け、自分の課題と出来ていること、出来ていないことをそれぞれ捉え、向き合うことができました。その中で色々な科学技術論文を参照し、読み込むことで技術的に深堀していくことを学びました。技術士試験に対しての覚悟と意欲を保ちながら、学習を継続することができたと思います。不安な時期もありましたが、継続は力なりということばを実際に口にして続けてきました。相手に文章をわかりやすく、シンプルに的確に、伝えるということを意識して対応しました。**このような経験や意識が、普段の業務でも役立ちコミュニケーション**

の重要性を理解し深めて行くことができました。**講師の方々からの様々な指導があり、勉強していくモチベーションを維持することができました。**

◎口頭試験対策講座について

対面の口頭模擬試験を実施いただきまして、緊張感と経験を得ることができました。頭の中で理解できていても、その場面に立つとうまく表現することは難しいと感じています。その中で模擬面接で自分のことを客観視することができました。口調や口癖、スピードやイントネーションをより良い方向に修正することができました。わたしは緊張すると話が文章調になることが多々あったと気付いたことが効果的でした。多種多様な方々に伝えていくということからも、シンプルに話し言葉で明快に伝えることを大切にしました。模擬面接で学んだことを繰り返し、駅前のリモートワークボックスに毎日通い、練習を繰り返すことで準備をして試験に臨むことができました。

◎終わりに

技術士の勉強は、明確に何が正解で何が間違いなのかわからず、道なき道を走っている状態だと感じます。**でも無駄なことは何も無くて自分を信じて、周りに協力して頂ける人がいることを信じて一歩ずつ進んでいければ良いと感じています。**実務に本当に生かされているのかなど不安になることも多々ありますが、それでも前に進んで行きたい、**技術者として自分自身を高めていきたい、世の中をより良く変えていけるような存在になりたいと、希望を持ってこれからも邁進していきたいと考えています。**